

## 第2回 杉並区立杉並第一小学校改築検討懇談会（要旨）

会 議 名	第2回杉並区立杉並第一小学校改築検討懇談会	
日 時	令和6年5月28日（火）午後1時30分～午後4時10分	
場 所	桃井第二小学校（事例見学） 杉並第二小学校（事例見学） 杉並第二小学校 理科室（委員意見交換）	
出 席 者	委 員	杉並第一小学校運営協議会の代表：岡田 円治 竹越 不可止 杉並第一小学校震災救援所の代表：近藤 浩 懇談会委員3名（欠席17名）
	事 務 局	教育施設計画推進担当係長：岡本 智彦 新しい学校づくり担当係長：春日 隆平
傍 聴 者	事例見学のため傍聴なし	
次 第	1 事例見学 桃井第二小学校 2 事例見学 杉並第二小学校 3 委員意見交換 4 その他 5 閉会	
資 料	資料1	第2回 杉並区立杉並第一小学校改築検討懇談会行程表
	資料2	杉並区立杉並第一小学校検討懇談会 委員名簿
	参考資料	桃井第二小学校 学校要覧、パンフレット、事例見学順路図
	参考資料	杉並第二小学校、学校要覧、パンフレット、事例見学順路図

教育施設計画 推進担当係長	<p>お忙しい中、今日は事例見学会にご出席いただきましてありがとうございます。桃二と杉二小の2校の足早の見学でお疲れのところかと思えますけれども、ちょっとお時間を頂きまして、改築検討懇談会の委員の追加報告と、視察を終えてご感想などを頂ければと思ひまして、お時間を頂戴したいと思います。</p> <p>また本日、申し訳ないのですが、杉並第一小学校の校長先生とか手前どもの学校整備・支援担当部長、学校整備課長は、公務のために外させてもらっておりますので、私のほうで進行を進めさせていただきたいと存じます。</p>
------------------	--

それでは、早速ですけれども、本日お配りしている資料がございます。今回、杉一小学校のPTAのメンバー3名と、それから学童の委員の方1名が新たに選出されましたので、そちらのご報告になります。2回に分けて視察を行っておりまして、出席がばらけておりますので、今回は名簿の添付とご紹介だけということで、ご挨拶のほうは次回の第3回の懇談会をお願いをする予定でございます。

それでは、2つ目に参りまして、本日の視察についてご感想を頂ければと考えております。

まず、最初に参りました桃井第二小学校ですが、昭和3年に桃井第一小学校の生徒数の増加に伴って新たに開校しておりまして、当初は、昭和の頃ですけれども、大体杉一と同じ頃に木造から鉄筋コンクリートに改築されておりまして、平成31年に現在の校舎に改築をされたというところになってございます。

規模としましては、生徒数が大体600名程度で、20学級程度。また地上5階建てで、校庭が大体3,000平米近く。建物の面積は、総面積で7,400平米ぐらいという形になっております。

こちらは敷地の形状が、杉並第一小学校の移転先用地と同じように台形状の不整地となっておりまして、校舎の形状を工夫しながら、若干セットバックも含めながら、さらに校庭を広げているという形の工事をしてございます。

また、東側が住宅地と接してございましたので、校庭の東側には倉庫を設けて、さらに植栽帯を設けて、フェンスを設けるという形で、民家側への緩衝地帯を設けて配慮しているところでございます。

ここの杉並第二小学校ですが、明治17年に開校しておりまして、杉一小の数年後に鉄筋コンクリートの校舎になっております。こちらは開校から140周年を迎えておりまして、昭和30年代頃に建設された校舎が老朽化したということで改築をしまして、現在、新校舎が出来上がっています。ただ、まだグラウンドに残っている旧校舎の解体が終わっておりませんので、こちらの工事が来年10月ぐらいまでかかる予定になっております。

規模としましては、生徒数で700名ほど。26学級でございます。

校舎ですが、都合で5階建ということですが、地下1階の地上4階建てという形になっております。校舎の広さが全体で7,100平米ぐらいですので、桃二よりも少し狭く、校庭は4,000平米ぐらいですので、逆に桃二よりも広くなる予定でございます。

	<p>こちらやはり台形状の敷地となっていて、不整形なのですが、北側が、今の校舎で見えないのですが、若干勾配があるので擁壁があるのですが、そのすぐ向こうが住宅地になっておりますので、やはり間に緑地帯を設けて、緩衝帯を造って建てているという形になってございます。</p> <p>雑駁ですが、この2校につきましての概略は以上でございます。</p> <p>あと、皆様にお配りしております各校の意見シートですが、こちらは後ほど回収させていただければと思っておりますので、お帰りになる際に席上の名札の下に置いていただければと思います。</p> <p>こちらに書いているところであるかと思いますが、皆様から今日の見学会の感想ということで、お話を頂ければと思います。お一人ずつ順にお話を頂ければと思います。</p> <p>それでは、座席一番向こう側の委員からお願いできますでしょうか。</p>
委員	<p>本日は、本当にこういう機会をつくっていただきましてありがとうございます。大変いい2校を見せていただいて、ここでは何も言うことはありません。</p> <p>特に気に入ったのは、両校ともプールが屋上にある。現代にマッチしているのだなど。水漏れがしないということに注意していただければいいのかなど。</p> <p>私個人としては、こういう行政が造る建物の中で、見た限りでは大変いい造りになっているのではないのかなという感想でした。</p> <p>こういうのをぜひ杉並第一小学校にも充てていただければという気持ちで見学させていただきました。ありがとうございます。</p> <p>以上でございます。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、委員、お願いいたします。</p>
委員	<p>どうもありがとうございます。初めてこのような機会をいただき、いろいろ勉強になりました。</p> <p>私の立場上、震災救援所関連で防災の観点から見させていただいて、杉二小さんのほうは、まだ防災倉庫を見ていませんのでコメントできる状態ではありませんが、</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>すみません、後ほど鍵を開けますので。</p>
委員	<p>桃二小さんのほうは防災倉庫は内部と外部できちんと整理されていまして、非常に整っているなという印象でした（打合せ後、杉二小さん</p>

	<p>の体育館手前の内部の防災倉庫を拝見し、区で規定されている所定の備品が、校内で整理された状態で保管されていること確認しました。</p> <p>どこか質問を書きますけれども、必要とされる、区で規定されている所定の備品が校内に全部あるのかどうか確認したい。逆に言いますと、杉一は半分ぐらい校外の倉庫に置いてありますので、そういうところをまず確認したいというところですかね。</p> <p>あとは、桃二さんのほうは災害トイレが、個数はそれほど多くないですけれども、5個ほど自転車置き場のところにありましたので、併設して井戸もございましたので、最近の公共施設としては必要最低限というか、置いてあっていいのかなと思いました。</p> <p>あと防火水槽もあると言われることなので、そういった面で、多分区が定める通常の防災の観点といったところはある程度充足されているのかなと思っておりますので、そういうところですね。</p> <p>杉二さんはちょっとそここのところが分からないので何とも。</p>
教育施設計画 推進担当係長	こちら確認してまた後日。
委員	<p>あとは、同じ防災の観点ですけれども、フリースペースが両方とも結構特徴的な形をご用意されていると。杉一の先生方ともお話ししたときに、災害時に、教室は個人情報があるので、体育館またはそういうフリースペースをなるべく活用してほしいと言われていたので、杉一ほとんどフリースペースがございませんので、建て替えたとしてもそここのところはどうかなのかなと思った次第です。</p> <p>あと、質問ですけれども、新しく校舎を建てたとき、生徒さんの数というのは多分増加傾向になるのかなと思うのですけれども、そここのところはどうかなのかなと思った次第です。</p>
教育施設計画 推進担当係長	確かに小学校に関しては、現在、具体的に増減があると言われると、誤差の範囲という状態が続いているみたいですが、中学校につきましては、実際に杉並区は私立中学校へ行くお子さんが多いのですが、私立中学校に行くお子さんが公立学校に来る割合が増えているという結果は出ております。大体割合として、1割から2割ぐらい増えている。
委員	理由は。
教育施設計画 推進担当係長	<p>理由ですか。これはあくまでも想像ですけれども、やっぱりきれいになったからではないかというところとか、あと使い勝手とか、かなりいろいろと工夫して。</p> <p>特にフリースペース。さっきお話がありましたので、どうやって使って</p>

	<p>いるのかというご質問もあったと思うのですが、授業をやっている中で複数のクラスが集まることもあれば、単独の学級でクールダウンに使ったり、あと間仕切りを設けて、最近更衣室といいますか、着替えも男女一緒という時代ではなくなってきていまして、それを仕分けるために使ったりとか、あと保護者会の保護者の方の待機の場所ですとか、そういった形で様々使っていると聞いております。</p> <p>そういう形で必要になってきておりますので、今後整備していく学校は、教室の広さとかその辺は大きくは変わらないかと思うのですが、そういったところで変化は出てくるのかなと思っています。</p>
委員	これだけきれいだと、私立に負けないですね。
教育施設計画 推進担当係長	<p>そうですね。正直、学校で入れてあるものというのは、規格品として大きく変わっているものはございません。</p> <p>ただ、目に見えないところでいろいろと変わってくる部分は私立等含めてありますし、どうしても公立の場合は規格の中で必要なものをそろえていくという形になるのですけれども、私立の場合は、それ以外の様々な教育効果があると思われるものを別途調達したりすることがあると聞いております。</p> <p>ただ、実態としてはそういうところがあっても、中学校に行かれるお子さんが公立に行く数として少し戻ってきているという現象は出ておりますので、そういったところもあろうかと思っています。</p>
委員	<p>分かりました。いっぱいしゃべりましてすみません。</p> <p>以上です。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>ありがとうございます。</p> <p>最後に委員、お願いします。</p>
委員	<p>今日はありがとうございました。さすがにごく最近建てられた学校だということで、一つ一つの設備、考え方も含めてよくできていると思いました。</p> <p>褒めているばかりではしょうがないので、気がついたことを幾つか申し上げると、個々は見せてもらったのですが、これを建てる時にそれぞれの学校で、「うちの学校はこういう教育をしたいのでこういうコンセプトの学校をつくってください」と、学校を改築するに当たっての基本理念とか基本計画があったと思うのですが、それを知りたいなと思います。</p> <p>それがないと、個々の一つ一つは立派なプールですねとか、音楽室広くていいですねとか、それはそれでいいけれども、全体としてどうなの</p>

	<p>かというところを、ぜひ6月の会でもいいし、説明をして頂きたいと思 います。</p> <p>つまり、それぞれの学校をつくる時どういう理念があって、その結 果としてどういうものができてきたのかというのを知りたいなとい うのがまず1点です。</p> <p>それから、例えば「廊下が広い」とか「昇降口も広い」とか良いと思 いましたがでも、それは、校舎のスペースをどれだけ取れるかというこ とと関係しているわけです。だから、幾ら「いいですね」と言っても、 「残念ながら杉一はそこまで広く取れないんです」ということだって、 大いにあり得るわけです。</p> <p>なので、まずそれぞれ桃二と杉二、建坪はどれぐらいですか。それか ら、杉森の建坪、常識的に考えて大体このくらいの建坪ですねというの があれば、その比較を教えてくださいと思います。</p>
教育施設計画 推進担当係長	杉一は大体6,900ぐらい。
委員	その建坪になるのではないかということ？
教育施設計画 推進担当係長	敷地全体で、です。
委員	敷地全体が。
教育施設計画 推進担当係長	はい。その中で、例えばグラウンドに4,000平米ぐらい割けますと、 3,000平米ぐらいが建坪になります。
委員	<p>例えば、4階建てにしたら何平米になるか。プールを一番上に置いて、 プールも含めて5階建てだったらどうか。要する廊下広くていいです ね、昇降口も広くて、私達の時代の昇降口とは全然違っていいなと 思いましたけれども、さてそういうことが、実際どのくらい可能性が あるのかどうかがよく分からないので、それも知りたいなと思いま す。</p> <p>それから、桃二のほうは木調が基本でしたね。杉二はそこまで木調の 印象はない。</p>
教育施設計画 推進担当係長	そうですね。ただ、ヒマラヤ杉を幾つか校庭で切っていて、そち らを使っているということではございます。
委員	それから前、4月の懇談会のときに私もちよっと申し上げましたが、 共用スペース、これも我々の時代にはなかったのだけれども、学年を超 えた交流、年上・年下の仲間たちとの交流も含めて、共用スペースとい うのか、多目的スペースというのか、2校とも考えられてそれぞれ設け られていました。だけれども、今日残念なことに、それをどう生かされ

	<p>ているのがよく分からない。場所はあったけれども、実はほとんど使っていないですよということだってあり得るわけです。</p> <p>移転したばかりだから、まだ十分使いこなすまで行っていないことももちろん大いにあり得るのですが、これは基本的な、どういう教育をするのだという基本理念みたいなこと、それなりの考え方があった上でああいうふうにしているのではないかとも思い、どんなふうに使っているかが知りたいと思いました。</p> <p>それから、図書館。今見せていただいた杉二の図書館は、ちょっと丸くなった半円形の段があってそこに腰掛けて本を読むことができる工夫がされていました。</p> <p>今の図書室の造りは、要するにお勉強の場なんですね。子どもたちにとって本を読むということが、やっぱりお勉強になっているんです。それはそうだけれども、それで本当に子どもたちは本と接するのだろうか。</p> <p>今、本屋さんだってツタヤなんか行くと、昔の本屋とは全然違います。喫茶店と本屋と一緒にいたりする。そういうことも含めて、学校の図書室のつくりをどう考えるか。しかも、これからますますIT化が進んで、ますます紙の本に接しなくなる。どちらかといえば、トレンドはそうですね。そういう時代に、一体どういう図書室を設計するのかというのをね。</p> <p>もう1つ、不登校、登校渋りの子が増えていることが大きな問題です。これからもっと増えていくかもしれないそうした子どもたちの居場所というものをどう用意していくか、という問題があります。それは今までだと保健室ぐらい？</p>
<p>教育施設計画 推進担当係長</p>	<p>居場所というのですかね。</p>
<p>委員</p>	<p>保健室もいいのですけれども、図書室がそういう子もふらっと来て、何かいられるような図書室か、図書スペースというか、そういうのができないかと杉森中では、CSの委員と校長先生なんかと話したりしているのですけれども、それはどういうものかいいのかまだ答もないし、私も別に何か知恵があるわけではありません。</p> <p>これからますます登校渋りとか、そういう子が増えるかもしれない中で、そういう子の居場所みたいなものは新しい校舎の中でどんなことが考えられるのかというのが、何か工夫とかトライアルが必要ではないかと思えます。</p>

	<p>つまり、子どもが本当に多様になっている中で一律教育、クラスでまとめて教育していくスタイル。それだけではない教育の形。これからこの建て替えた校舎を50年ぐらい使うわけです。この先50年間、どういう社会になるかよく分かりませんが、そういう中でどういう入れ物だったらいいのかというのは、すぐに答えは出ないけれども、みんなで考えてみる価値はあるのではないかと。そんなことを思いました。</p>
<p>教育施設計画 推進担当係長</p>	<p>今日は皆さんご都合の合わない方もいらっしゃいまして、お三方だけという形になりましたので、こちらで終わりにさせていただきたいと思っております。</p>